

柳城

R y u j i o

柳城学院報

第56号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：洪澤 一郎

2011年7月1日



明治時代正門

建学の精神 「愛をもって仕えよ」

目次

理事長からのメッセージ	2
学長からのメッセージ	3
理事会より	4
聖書のことば	4
施設整備（短大・幼稚園）	5
●短期大学	
紙芝居プロジェクト	6
就職状況	6
入試情報	7
保護者会 News	8
同窓会 News	8
同窓会東京支部日より	8
●イベント情報	
オープンキャンパス	9
りゅうじょう子どもフェスタ	9
ニューイヤークンサート	9
柳城祭	9
●附属幼稚園便り	
附属柳城幼稚園	10
附属豊田幼稚園	11
附属三好丘聖マーガレット幼稚園	12
●お知らせ	
二〇一〇年度会計報告	13
新任（専任）教職員紹介	14
退職にあたって	15
宮嶋顧問叙勲	15
学院人事	15
幼稚園だより	16
改善提案委員会からの報告	16
聖公会関係学校教職員研修会	16

東日本大震災から思うこと

3

月11日に発生した東日本大震災は発生後3カ月を経てもおお様々な問題を抱えたままです。それだけ大きな、いわゆる未曾有の災害であったと言うことができます。6月に入った現在でも、死者は約1万5千人、行方不明者は8千人を越えています。避難所暮らしの方々は9万人近くにも及んでいます。一日も早く行方不明の方々の安否が明らかになりますよう祈りたいと思います。また、家族や友人、知人、同僚、仲間を失った方々の心が癒されますようお祈りいたします。

それでも、震災からの復興が徐々に始まっていることを知りますと嬉しく感じ、心強い思いがいたします。まだまだ大変な時間がかかるかもしれませんし、すべてが現状に復帰するということは難しいのかもしれませんが一日も早い復興がなされますよう、わたしたちも応援をしていきたいものです。

す。柳城の創設者であるヤング先生が来日するきっかけになったのが、1891年(明治24年)の濃尾大地震だったとも言われています。復興を応援するため名古屋に來られ、結果的に柳城が生まれたということは大変不思議な神様の摂理のようなものを感じます。濃尾地震は岐阜県、愛知県に大きな被害をもたらしたのですが、しかし、それだけではなく、そこから新しい働き(命)が生まれていったということを知るからです。今回の地震でも多くの人たちが悲しみの中にありながら、絶望するのではなく希望を持って新しい命を生きて行くこうとしています。愛する者を失った悲しみは時が経つても癒えることはないかもしれませんが、わたしたちはその人々に思いを馳せ、その方々の心の癒しを神様に祈りたいものです。

島第一原子力発電所の事故です。原発は安全であるという、いわゆる原発の「安全神話」はもろくも崩れ去りました。関係者は想定外の地震であった、想定外の津波の大きさであったと言いますが、原子力の専門家が「想定外」という言葉は使えないはずですが、なぜならば、「想定外」を「想定」した上でなければ原子力の利用はあり得ないと思うからです。(こう言うことで原発を容認しているわけではありません。)もし一たび事故が起こった時には、その性格上、計り知れない、取り返しのつかない被害が生じることは容易に想像できるからです。ですから、想定外を想定した備えが必要なのです。しかし、新聞記事を読んでも、時、誰の発言だったか忘れませんが、想定外を想定していたら原発は作れないという表現がありません。それが原発の現実なのです。

の停止を要請し、中電はそれを受け入れました。菅首相が要請した理由は、東海地震が発生する確率がこれから30年以内に87%であるということでした。その震源域の中にある浜岡原発に事故が起こったら日本の東西が完全に分断され、あらゆる障害が発生するからです。原発の停止それ自体は喜ぶべきことでありましょう。しかし、浜岡原発は地震への備えが出来た時点で再開されます。日本には全部で54基の原発があります。その他の原発はどうするのか。浜岡原発の停止により電力供給が当然減少します。日本の産業はどうなるのか、わたしたちの生活はどうなるのか、課題は限りなくあるでしょう。

しかし、原発はひとたび事故が起こるとどうなるのかは、残念ながら今回福島の第一原発事故で証明されました。その事実を重く受け止めなければなりません。日本はそろそろ原発から脱却しなければならぬ時が来ているのではないのでしょうか。そのためにはわたしたちのライフスタイルの変革も当然求められます。原発はわたしたちに豊かな便利さを与えくれました。しかし、豊かな安全を与えてくれるものではありません。わたしたち一人ひとりが真剣に考えなければならぬ問題なのです。皆さんはどうお考えでしょうか。



理事長
渋澤 一郎

二〇一一年度の重点方針

先ずはじめに、東日本大震災で多くの方々が尊い命を落とされたことに哀悼の意を表します。それとともに、今なお悲しみと不安の中におられる被災者のみなさまに心よりお見舞い申し上げます。今後被災地が復旧、復興に向けて着実に前進していかれることを願ってやみません。そのためにも私どもがお手伝いできることがあれば可能な限り微力を尽したいと思っています。

さて、名古屋柳城短期大学では昨年度の実績を引き継ぎ、また遣り残した課題、将来への発展のために今とよりくまなければならぬ課題をふまえて、本年度の大学運営の重点方針を以下の諸点におくこととしました。教職員一同総力をあげて方針の達成に向かって最善の努力をするつもりですので、ご関係のみなさまにはご理解、ご協力、ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

1、「建学の精神」(愛をもって

仕えよ)の実現をめざして、短

大の運営と改革のさらなる発展をめざします。理事会・教授会主導のもと、短大運営の活性化、キリスト教センターの活動スタート・キリスト教教育の深化、日本聖公会中部教区・関係教会との連携・協働の強化に努めます。

2、構成員の人権をお互いに尊重しあい、より快適に学び、かつ働くことのできる学校づくりをめざします。「建学の精神」のもと、心の通いあう人間関係の構築、倫理的価値に裏づけられた品位と行動をわきまえること、各種ハラスメントの防止・対策の徹底をはかります。

3、より充実した「教育の質」の保証と向上をめざして、柳城生にふさわしい人間性と専門性を育成できる教育改革にとりくみます。

「建学の精神」に則った教育理念・目標(及びそれにもとづく3つのポリシー)の具体化、丁寧で分かりやすいシラバスの作成、セ

マスター制の徹底、教職実践演習(履修カルテ)の実施、教育評価(成績評価基準など)のあり方の検討など、いっそうの授業改革、学校行事のあり方についての見直し・改善に努めます。

4、保育と福祉の専門職としての適性と基礎学力を有する学生の確保にとりくみます。入試広報の拡充(高校推薦、教会推薦、一般Aなどをより重視)、これまでの関連データの分析をもとに現行制度の成果と問題点の解明、高校生の進路選択の現状分析、将来予測などにもとづいた入試改革のあり方を探求します。

5、キャリア支援、とくにキャリア教育の充実に専念します。キャリア支援、とくにキャリア教育の理念と内容の体系化、就職準備教育の充実(就職指導と教養・専門教育の連携のもとで)、幼稚園・保育園とのより緊密な関係づくり(実習指導と就職指導の相互補完)にとりくみます。

6、FD・SDによる教育

力・業務遂行力の強化をめざします。授業公開、授業の方法技術等に関する共同研究、学生による授業評価の検討などによる積極的な授業研究、他大学の教職員との研究交流、業務に関する研修機会の拡充(OJT、OFFJT、職能・職務別研修、管理監督者教育など)、教職員合同研修の充実をはかります。

7、安全で安心できるキャンパス整備(より充実した学園生活の保障)に力を入れます。ロータリー、中庭などの整備、ロッカー棟の整備、非常階段の修復、2号館ベランダの活用などを検討します。

8、短大と幼稚園の連携・協働を

いっそう強化します。共同研究、実習指導、短大授業への附属園教員の出講(学生指導への参加)、短大教員による附属園教員の指導などの積極化、幼児教育研究所を中心に研究活動の活性化をめざし

9、防災対策・体制を再構築します。対策本部の再編成、短大全体の組織体制の構築、防災・避難方法等の明確化、災害時の必需品の備蓄、構成員へのマニュアルの周知、防災意識の啓発、実効ある避難訓練の実施にとりくみます。

10、業務情報の共有化・一元化をはかります。サーバの一元化、有効な情報活用、情報セキュリティの確保、業務の合理的・効率的遂行に努めます。

11、将来計画を策定します。理事会による将来計画(経営管理面を中心に大綱的な)の策定、上記計画をもとに教職員による行動計画の策定にとりくみます。



学長 新海 英行

私立学校法の改正と理事会

2004年4月、私立学校法が改正され、学校経営の明確化・透明化とガバナンスの強化を目的として理事会と理事長の責任・権限が明確にされ、また大幅に強化されました。改正の背景は、少子化

により学校経営が困難さを増す一方で、規制緩和により大学の生き残りが必要な課題となってきたことです。過去の大学理事職は、どちらかというと名誉職的な色彩が濃かったのですが、今般の私立学校法の改正によって大学経営に実質的な責任を負うこととなったのです。併せて、監事の役割についても、会計面での監査に止まらず、理事や理事会の職務執行状況を監査することが明記され、その責任と権限は大変重いものとなりました。

柳城学院の理事会は、理事8名、監事2名、顧問1名(陪席)の合計11名で構成されています。その選任母体は、教育者3名、日本聖公会司祭2名、附属幼稚園前園長1名、民間有識者4名、事務局長1名となっていて、経営面から見て偏りの無い大変バランスの取れた構成となっています。このこと

は柳城学院の理事会が将来に亘って進路を誤ることなく安定的に運営していく上で極めて重要なことと認識しており、今後ともバランスのとれた理事構成に配慮していきたいと考えています。

また、柳城学院理事会は、私立学校法が改正されるより早くからその機能の強化に取り組んできました。理事会はほぼ毎月開催され、監事同席のもと法人の活動について細大漏らさず報告・協議することとしています。更に、理事が、将来計画検討委員会、キャンパス整備委員会、OA推進委員会、提案改善委員会、附属幼稚園委員会等の諸委員会に参加し、学校運営について教職員と共に考える機会としています。以上のように、理事が学校運営に深くかかわり責任を負っていく形態を今後とも維持していきたいと考えています。

理事 塚田 一宣

聖書のこゝとば

「わたしは再びシオンに来てエルサレムの真ん中に住まう。

…(中略)…

都の広場はわらべとおとめに溢れ彼らは広場で笑いさざめく」

(ゼカリヤ書第8章3節・5節)

本館2階正面に私の研究室があります。その研究室の中はいつも物寂しく、冷んやりとした雰囲気ですが、その研究室の外からは、毎日のように学生たちの明るい挨拶や楽しそうな笑い声が聞こえてきます。その声で、研究室も、私の心も温もりを得て、次第に雰囲気を変えていきます。学生たちの挨拶、笑い声、それらを耳にしているだけで、心の中の鬱々としていたものが消え去り、今、この場にいられる幸せを感じることが出来ます。私は、学生たちの素敵な笑い声に支えられ、一日一日を安らぎのうちに過ごすことができます。そして、その笑い声に感謝し、こう祈ります。『いつまでも、学生たちのこの笑い声が絶えることがありませんように。困難な実習の時も、辛い試験の時も、そして、この柳城から旅立った後も、学生ひとり一人の人生のうちに笑い声が響きますように。この柳城が、子どもたちが喜びながら遊び、笑い声で賑わい、日々、神の見守りを感じながら成長できる園庭のような場所でありますように』と。

意外かもしれませんが、聖書において、「笑う」という言葉はあまり良い意味では用いられていません。多くの場合、「あざ笑う」という言葉として用いられており、ましてや、イエス・キリストが笑ったなどという記述はどこにもありません。イエス・キリストが泣いた、怒ったという記述はあるのに”です。イエス・キリストの涙は人類への憐れみと深い愛を、怒りは神の義(たださ)と審(さ)きを象徴しているが、笑いは人間性を表わし、神性を希薄にさせるだけのものであるから、神であるイエス・キリストには相応しくないという理解もあります。では、イエス・キリストは生涯一度も笑わなかったのでしょうか? いいえ、私は、イエス・キリストは誰よりも明るく、朗らかにほほ笑むことがあったと信じています。

柳城の学生たちの笑い声が私に幸せをもたらし、神の見守りのもとであれば誰もがほほ笑むように、イエス・キリストがそのほほ笑みによって多くの人々に幸せをもたらし、神の見守りをその笑顔を通じて与えられたに違いないからです。ほほ笑みのある所に、必ず神の存在の証があるように私には思えます。

柳城短期大学 チャプレン 司祭 ヨセフ下原 太介

施設（キャンパス・園舎）整備の状況について

総務課 中村 雅

柳城学院報の記事ですので、最初に名古屋柳城短期大学附属三好丘聖マーガレット幼稚園の園舎増築について述べます。

三好丘聖マーガレット幼稚園の園舎増築については、二歳児保育へ向けた施設の拡充と地域への施設開放を目指した平松園長が理事会へ働きかけ、理事会で承認され実現したものです。

増築部分は、2階建て延べ床面積は四百九十九㎡です。一階は一体化が可能な保育室二部屋、幼児用トイレ、既設遊戯室と一体化が可能な遊戯室で構成されています。二階は地域の活動に利用でき、また、礼拝も可能なホールと講師室（多目的な会議にも使用可能）とバリアフリートイレとで構成され、一階を経

由せずに外から直接入れる構造となっています。なお、二階のホール正面には日本聖公会の信徒でステンドグラス製作家の



北館全景

岡田慶子氏の手によるステンドグラスがはめ込んであり、明るい中にも落ち着いた雰囲気を与えています。

当初この計画は学院のメンバーと大成建設（株）で基本計画を進めていきましたが、適正な建築費とするためには競合見積が必要であるとの観点から、キャンパス整備に種々提案をいただいている（株）

中建設計に設計、施行管理を依頼し、ゼネコン四社（名工建設、浅沼組、徳倉建設、大成建設）で入札を行い一番廉価な大成建設（株）へ施工を依頼しました。2010年6月23日に渋澤理事長司式で起工式を行い2011年2月末に完成を見ました。落成式は起工式と同じく渋澤理事長の司式で3月25

日に行われました。総工費は消費税を含め一億四千三百八十五万円でした。

幼稚園という子どもの集まる場所での建築工事であり、文字通り安全第一を最優先に工事を進めて頂き、無事故で完成できたことに対し設計事務所と施工会社の方々のご努力に感謝を致します。

北館並びに42、43教室
一体化工事について

この工事は体育館西側隣地の後藤氏から、同宅地が借用でき、且つそこへの校舎新築を承諾してもらえたこと、二クラスが入る教室が少なく教室のやりくりに困難を生じていたことが重なり、42、43教室を一体化してより多数の学生が入れる教室を増やすことと、42教室で行っていた授業を行える教室を確保することを目的として進められました。この工事についても適正な価格で進めるため競合見積を行うこととし、公募要項を作成し三社（積水ハウス、榊原建設、大成建設）で

入札を行い、一番廉価な大成建設（株）へ設計・施工を依頼しました。当初の仕様では、一階はリズム体操、音楽他の多目的教室とし、床は体育館と同仕様とする、二階は一般教室（72㎡）一部屋と女子用トイレ、三階は一般教室（50㎡）一部屋とゼミ室（30㎡）一部屋を進めました。この仕様は途中から、二階トイレは二箇所（女子用と多目的用）とすること三階は一部屋とすることに変更されました。延べ床面積は327㎡です。

工事は既設の後藤邸を解体することから始められ2010年7月14日から21日の間で解体を行い、9月16日に起工式を渋澤理事長の司式で行い9月21日から実工事を開始しました。

体育館に隣接した工事場所なので、学生の体育館への出入りは東側扉を使用してもらうなど学生の防護に最大の注意を払いながらの施工を行ってもらい、2011年2月末に建築工事を終了し2月25日に渋澤理事長司式で落成式を行いました。総工費は消費税を含め五千六百七十七万五千円でした。

ルナツインの購入

ルナツインという名称のマンションは本学敷地の西北角地にあり、このために校舎高さが日影法上規制を受ける要因となっています。この規制により、本来5階まで建設できる1号館西側校舎は3階建てしか出来なく、敷地面積あたりの校舎床面積が規制されています。今回このマンション、土地を購入したこと並びに現在の居住者が移動した後は1号館の西側校舎高さが5階まで建設できることとなり、敷地面積あたりの校舎延べ床面積が拡大出来ることとなります。また、将来構想も検討内容が拡大できることとなり、現在問題となっている、教室数の不足、研究室の不足、学生食堂等の対応検討に自由度が付加される結果となります。但し、居住者が立ち退くまでは施設管理者としての責任があり、これらに対応をしなければならぬ義務が生じています。尚、マンションを更地化するには約一千万円程度の費用が必要と思われる。

入札を行い、一番廉価な大成建設（株）へ設計・施工を依頼しました。当初の仕様では、一階はリズム体操、音楽他の多目的教室とし、床は体育館と同仕様とする、二階は一般教室（72㎡）一部屋と女子用トイレ、三階は一般教室（50㎡）一部屋とゼミ室（30㎡）一部屋を進めました。この仕様は途中から、二階トイレは二箇所（女子用と多目的用）とすること三階は一部屋とすることに変更されました。延べ床面積は327㎡です。

紙芝居プロジェクト

プロジェクト実行委員長
齋藤久美子

●大人と子どもの関わりを育む「手づくりキッズ紙芝居コンテスト」

このコンテストには、紙芝居を作るという行為をとおして、子どもと大人の関わりを育みたいという「ねらい」があります。紙芝居の絵、ストーリーに子どもの思いが表出され、寄り添う大人が共感的に理解をすることで、一つの作品が出来上がるというわけです。表彰作品の選出も、この「ねらい」を視野に入れ行われます。昨年度の対象作品をご紹介します。

最優秀作品、青山聡君7歳の「たまごころころ」は、ユーモラスで、お話の完成度の高い作品です。絵にも紙芝居の特性がうまく取り入れられています。彼の幼稚園時の担任保育者が、本学の卒業生なのですが、彼が幼稚園の時に描いた絵を大切にしておかれて、紙芝居コンテストに応募することを勧められたそうです。聡君の表現力の素晴らしさと、それに目をとめた大人の関わりによって出来上がった作品だといえます。

優秀作品、菅井ゆりさん10歳の「ずっと友達」は、転校していくお友達と合唱を通してつながっていたいという思いが込められた作品です。ゆりさんは新潟の方ですが、近くに住む本学の卒業生がゆりさんの紙芝居作りの力を見出して勧められ、応募されたそうです。力強い線で描かれたモノトーンの個性的な絵の作品です。柳城祭での表彰式には、遠路はるばるお父様と来ていただきました。

もう一つの優秀作品、原口竜二郎君5歳の「なんで？」は、画面いっぱい描

かれた弟けんちゃんのと、「何でけんちゃんはおかしいんだろ」という弟ができた嬉しさが素直に表現された作品です。表彰式にご祖父母、ご両親、おそ



2010年度柳城祭での表彰式

ろいのトレーナー姿の3兄弟の総勢7人で参加くださいました。ご家族の温かな雰囲気は何とも素敵で、竜二郎君の作品が生まれた背景を垣間見る思いがしました。

本学の歴史とそこで育まれてきた関わり豊かなさを、コンテストが回を重ねるに従い、より強く感じさせられています。プロジェクトの蒔いた種が芽を出し育ち始めていることを、プロジェクト開設7年目にして実感しています。

2011年度(第5回)手づくりキッズ紙芝居
募集します。

お問い合わせは図書館へ

2010年度就職状況

専門職への就職は相変わらず絶好調!

2010年度は、保育科、専攻科保育専攻、専攻科介護福祉専攻を合わせて246名が卒業・修了しました。そのうち204名が就職を希望し、全員が専門職(幼稚園、保育園、児童施設、介護施設等)へ就職するとうたいへん良い結果が得られました。

また、その中でも早期に内定をいただく学生が多く、年内で95%以上の内定率でした。このことは、学生自身の努力はもちろんのこと、全教職員挙げての支援が実ったものと評価できます。

県内の保育者養成校の増加に伴う、厳しい就職戦線

2010年度は良い結果を得ることができましたが、安閑とはしてはいられません。今春卒業の愛知県内の大学生の就職状況を見ても、平成6年の調査開始以来3番目に悪い就職率となっています。就職を希望する約1割の学生が、就職できないまま卒業をしたとのこと。

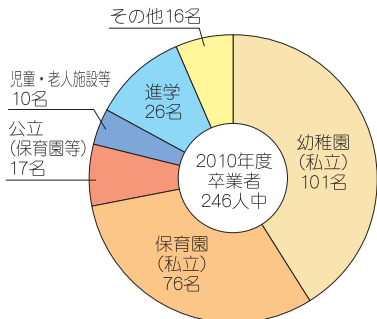
保育職においては、愛知県内は数年前までは20数校であった保育者養成校が、現在37校となっています。来年度新たに卒業生を輩出する4年制大学もあります。予想される求人数と求職者数のバランスから考えても、今後、厳しい状況となることは間違いありません。

この現実を乗り越え、全員の学生が満足のいく就職をするためには、柳城学院全体でより強固な連携をとっていく必要

があると感じています。学生全体に向けてのオリエンテーション等での様々な支援はもちろん、学生一人ひとりの個性を把握して、個々に対して、よりきめ細やかな支援を行なっていきたいと考えております。

	卒業者数(人)	就職希望者(人)	就職率(%)	進学者(人)	就職希望なし(人)	
保育科	226	185	100	25	16	
専攻科	保育専攻	7	6	100	1	0
	介護福祉専攻	13	13	100	0	0
計	246	204	100	26	16	

(2010年3月31日現在)



就職課では、卒業生に対する再就職の斡旋を行っております。再就職をお考えの卒業生の方は、就職課までお気軽にご相談ください。

就職課直通ダイヤル

052-848-8291

2012年度 入試情報

二〇一一年度 入試結果

保育科二一〇名、専攻科保育専攻五名、専攻科介護福祉専攻二五名の新生が入学しました。この状況は、十八歳人口の減少や高校生の四大志向という厳しい社会環境の中で、昨年と同様の入学者を確保できました。このことは、本学一三年の歴史と伝統に基づく教育内容や学習支援が、社会に認められている結果であると自負しております。

また、実習先や就職先の園長先生からは、「柳城生はまじめで明るく素直」、「保育に取り組み姿勢が良い」、「保育の内容を豊かに受けとめることのできる基礎的な力を持っている」など高い評価をいただいております。

今後におきましても、更なる本学の教育の質の向上、学生本意の教育の充実を目指してゆきます。保育、介護福祉への進学を希望される方がお見えでしたら、是非、本学への受験をお勧めいただければと思います。

二〇一一年度入試概要

本学の入学試験には、公募制推薦A入試（専願）、公募制推薦B入試（併願）、AO入試、一般A入試、一般B入試、社会人対象等の特別選抜入試、特別推薦入試の試験があります。この中の特別推薦入試には、「同窓生推薦入試（下記募集要項参照）」や「キリスト教会推薦入試（下記募集要項参照）」があります。

2012年度入試変更点	
1. 入学検定料の特典【保育科・専攻科共通】	入学検定料を一度振り込めば、今年度実施される本学のすべての入試の入学検定料は免除。
2. 入学手続金について	(1) 入学金の減額：350,000円 → 250,000円【保育科】 (2) 入学手続金の変更：[入学金+教育充実費] → [入学金]のみ【保育科・専攻科共通】 (3) 入学金の免除：①キリスト教会推薦入試及び同窓生推薦入試（2011年度入試より実施）において、合格者の中から上位3名の入学金を免除。【保育科】 ②本学卒業見込者（すでに実施済）及び既卒者は、入学金を免除。【専攻科】

2012年度入試日程

【保育科】推薦入学試験		【保育科】特別入学試験	
試験区分	試験日	試験区分	試験日
公募制推薦A(専願)	2011年10月22日(土)	社会人	2012年 1月20日(金)
公募制推薦B(併願)	2011年11月19日(土)	帰国生徒	2011年10月22日(土)
		私費外国人留学生	2012年 1月20日(金)
【保育科】一般入学試験		【保育科】特別推薦入学試験	
試験区分	試験日	試験区分	試験日
一般A入学試験	2012年 1月20日(金)	指定校推薦入学試験	2011年11月12日(土)
一般B入学試験	2012年 2月20日(月)	同窓生推薦入学試験	2011年10月22日(土)
		キリスト教会推薦入学試験	2011年10月22日(土)
【保育科】AO試験		*同窓生推薦入試とキリスト教会推薦入試の詳細は、下記の募集要項を参照ください。	
試験区分	試験日	【専攻科】介護福祉専攻	
AO入学試験	2011年 9月24日(土)	試験区分	試験日
【専攻科】保育専攻		第1回推薦・社会人	2011年 7月 2日(土)
試験区分	試験日	第2回推薦・社会人	2011年10月15日(土)
第1回	2011年 7月 2日(土)	第3回推薦・社会人	2011年12月 3日(土)
第2回	2012年 2月11日(祝)	第4回推薦・社会人・第1回一般入試	2012年 2月11日(祝)

照)が含まれています。まず、「同窓生推薦入試」は、本学を卒業された方のお子様、お孫様、ご兄弟姉妹を推薦していただく入試です。特にこの入試は、合格者の中から上位三名の方に対して、入学金が免除される特典があります。次に「キリスト教会推薦入試」は、出願要件など一部を、二〇一一年度入試から変更します。その内容は従来の出願者を、日本聖公会の教会から日本聖公会を含む日本キリスト教協議会加盟の教会またはカトリック中央協議会の教会の現

在受聖餐者に拡大しました。さらに「同窓生推薦入試」と同じように、合格者の中から上位三名の方を対象に入学金が免除されます。他に二〇一一年度入試から変更される事項がありますので、左記の入試変更点をご確認ください。このように本学は、多様な入試を実施していますので、自分に合った入試を選んでください。入試広報課では、入試に関する相談やお問い合わせを行っています。お気軽にお電話ください。(入試広報課)

同窓生推薦入試募集要項

本学の卒業生、在校生の子女、兄弟姉妹で、本学の教育方針を理解し、本科への進学を希望する人のための入学試験です。本科の教育内容を修得できる学力を有し、高い学修意欲と保育者を志す明確な意思を持ち、保育者の素養としての明朗快活さを備えた人を求めます。

面接、提出書類により総合的に判断します。

■募集人員
若干名

■出願資格
<親または兄弟姉妹が本学卒業生、在学中で下記の条件を満たす者>

- 2012年3月(平成24年)に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者
- 本学を専願とする者
- 高等学校最終学年第1学期または前期までの全体の評定平均値が3.3以上の者
- 出願時のピアノ演奏能力がチェルニー100番練習曲の30番を修了している者
- 将来、保育士・幼稚園教諭を志す意思と熱意のある者
- 保育者の適性の一つとして健康で明朗快活な者

■試験日程

出願期間	入学試験日	合否通知発送日	入学手続期間
10月4日(火)～10月14日(金)	10月22日(土)	10月27日(木)	10月28日(金)～11月4日(金)

■選考方法・選抜日時
面接および調査書等書類審査により選抜します。

入学試験日	内容
10月22日(土)	面接

■特典
合格通知をした者のうち、上位3名の入学金を免除します。

キリスト教会推薦入試募集要項

日本聖公会を含む日本キリスト教協議会(NCC-J)加盟の教会またはカトリック中央協議会の教会の現在受聖餐者で、本学の教育方針を理解し、本科への進学を希望する人のための入学試験です。本科の教育内容を修得できる学力を有し、高い学修意欲と保育者を志す明確な意思を持ち、保育者の素養としての明朗快活さを備えた人を求めます。

面接、提出書類により総合的に判断します。

■募集人員
若干名

■出願資格
次の要件を満たす者

- 日本聖公会を含む日本キリスト教協議会(NCC-J)加盟の教会またはカトリック中央協議会の教会の現在受聖餐者で、将来、保育士・幼稚園教諭を志す意思と熱意のある者
- 本学の建学の精神に賛同し、本学を専願とする者
- 保育者として適性がある者として、所属教会の牧師またはそれに準ずる聖職者が推薦する者
- 原則として全体の評定平均値が3.0以上の者
- 次のいずれかに該当する者
 - 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または、2012年(平成24年)3月卒業見込みの者
 - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2012年(平成24年)3月までに修了見込みの者
 - 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2012年(平成24年)3月までに修了見込みの者。またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - 文部科学大臣の指定した者

■試験日程

出願期間	入学試験日	合否通知発送日	入学手続期間
10月4日(火)～10月14日(金)	10月22日(土)	10月27日(木)	10月28日(金)～11月4日(金)

■選考方法・選抜日時
面接および調査書等書類審査により選抜します。

入学試験日	内容
10月22日(土)	面接

■特典
合格通知をした者のうち、上位3名の入学金を免除します。

保護者会 News

保護者会長あいさつ



松井 安子

娘は小さい子どもが大好きで、保育士の道に進む事を決意しました。先輩方に聞いて、学ぶならこの「柳城短期大学で」と決めたようです。

厳しい学校とは聞いておりましたが、確かに厳しさもありますが、それに伴い大変熱心な教育をして頂ける事もわかりました。友情を深め合いながら、この柳城で学び得た事を、今後の実習又は実践で生かす事ができる様願っております。

歴史ある柳城の建学の精神である「愛をもって仕えよ」を基に、保育士としてこれから出会う子ども達に出来るだけ多くの愛を注げるよう、先生方のご指導を受けながら、沢山のことを学び、「この柳城で学んで良かった」と学生の皆さんが卒業される事を心から願っております。

本年度、保護者会の会長を務めさせて頂くことになりました。少しでも本校のお力になればと

思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

◆保護者会役員

会長	松井 安子	2年
副会長	柴田 陽子	1年
会計監査委員	平見 睦子	2年
会計監査委員	山田 和江	1年
委員	鈴木 直美	2年
	藤井 昭美	2年
	早川 志緒美	2年
	藤原 喜久江	2年
	石田 登容子	2年
	土屋 佳代子	2年
	櫻井 薫	1年
	寺田 正美	1年
	伊藤 春美	1年
	伊藤 典子	1年
	酒井 亜由美	1年
	西村 朝美	1年

同窓会 News

のぞみ会 会長



青山 道

青葉の美しい季節となりました。新入生を迎え進級された在学生と共々希望に満ち、心輝かせ充実した学生生活を過ごしていらつしやることと思います。私たち同窓会はいつでも学生の皆さんと共に通じ合うところを模索しながらこれからも活動し、同窓生との良き交わりを通して相互の向上と母校の発展のために、少しでもお役に立ちたいと思います。実習園での先輩との交わりもきつと良い結果を生むことでしょう。柳城祭の時には例年の様に「ホームカミングデー」を開催いたしますので、教会一階ホールに集い、語り合いのひとときをお過ごしください。

東日本には多くの同窓生がいらつしやいます。この度の大震災により大きな被害を受けられ、今だ困難な生活をしていらつしやる方もおみえかと思えます。また悲しみの中においでの方々へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、貴地の復興がなされ、お元気になられますようお祈りいたしております。

今春に同窓会を開催する予定です

予告 同窓会 十一月十九日(土) 名古屋メルパルクにて (後日くわしくご案内いたします)

準備をしていましたが諸事情を鑑み今秋に延期することになりました。どうぞその時にはお元気で多くの方々のおいでをお待ちいたしております。

ホームカミングデーのお誘い 無料

日時 2011年11月3日(祝)
10:00 ~ 15:00
柳城祭開催時

場所 名古屋聖マタイ教会 一階ホール

美味しいお茶とお菓子を用意しております。在学生の皆様もどうぞおいでください。

同窓会だより(東京支部)

東京支部長 筑井 宏子

この度東京支部長をさせて頂いた
だく事になりました。よろしくお
願い申し上げます。

私の在学中に創立60周年記念式
典がありました。式典には東京支
部や、各地から先輩方が何人か参
加されていました。立派に活躍し
ていらつしやる様子がわかり「私
も卒業したら〜」と思ったもので
したが実現させる事はできません
でした。早くもあれから50余年と
いう月日が過ぎてしまいました。

東京近辺に住むようになり東京
支部会の案内状が届いた時、同窓
生に会えるのを楽しみに、よちよ
ち歩きの長男をおんぶして参加し
た事がありました。先輩達が暖か
く迎えて下さった事がとても嬉し
かった事を思い出します。

今年も役員の方の知恵を寄せ合い
計画を立てたいと思っております。
奮ってご参加下さい。また何かご
意見などがありましたらお寄せ下
さい。

懐かしい母校がいつまでも良い
学校であり、繋がる附属幼稚園が
発展します様お祈りします。

〒276-0043
八千代市萱田2220-72

● イベント情報 ●

オープンキャンパスで 名古屋柳城短期大学を体験してみよう！

本年度は、7月16日(土)、9月3日(土)、11月3日(祝)の3回、オープンキャンパスを開催します。

7月と9月は、入試内容についての説明、学生の体験発表、模擬授業、保育実技の体験やチャペル体験、相談コーナー等を、11月は学校祭と同時開催で、校内自由見学や個別相談を予定しています。また、7月はAO入試説明会、9月と11月は小論文対策講座を実施します。当日は、本学の大勢の学生がお越しいただいた方々をサポートします。

柳城の明るいアットホームな雰囲気を感じていただける絶好の機会です。保育を志す方々のお越しをお待ちしています。また、日曜、祝日以外ではいつでもご見学、ご相談に応じています。お気軽にご来校ください。(お問い合わせ先：入試広報課)



子どもフェスタ「ミュージカル」

りゅうじょう子どもフェスタ

2010年度は、2011年2月5日(土)に名古屋柳城短期大学体育館で行われました。劇、ミュージカル、ダンスと楽器によるパフォーマンスの3作品は、すべて学生のオリジナルでした。

鑑賞して下さった学生の保護者の感想の一部を紹介します。

「感動から涙がこぼれました。素晴らしいと一生懸命さと力強さとチームワークと生き生きしている姿と、いろんなものが心に伝わってきました。娘が、日々大人になっていく姿を2年間見てきましたが、最後にこんな姿を見せてもらえて本当に嬉しかったです。」

「準備と練習に、土日もなく学校に足を運んでいる姿を見守るだけでした。娘がフェスタにたずさわったことは社会に出てから大きな力になると思えます。今日は、きっと清々しい顔で帰ってくることでしょ。」

「素晴らしいという言葉はあまりにも月並みですが、素晴らしいと思いました。個々の学生の才能を生かして、学生もそれを思いっきり自然体で出しているのが伝わります。一番前で食い入るように見ている子どもたちの姿が印象的でした。素晴らしい教育が全学的になされていることに敬意を表します。」

2011年度は、2012年2月4日(土)、名古屋柳城短期大学内での開催です。

従来のステージに加えて、造形ワークショップ、音楽表現コーナーなど様々に開催されます。地域の皆様、卒業生の皆様、お子様連れでのご来場を心よりお待ちしております。(お問い合わせ先：入試広報課)

ニューイヤーコンサート

名古屋柳城短期大学主催・恒例のニューイヤー・コンサートは今年度1月15日(日)13時45分より名古屋伏見にあります三井住友海上「しらかわホール」にて開催されます。

この演奏会は今回で第30回目を迎えます。第一部では本学音楽担当教員による「モーツァルトの生涯とその作品」を、第二部では「学生によるハンドベルとコーラスの響き」をお送り致します。新春の一時を美しい音楽でお過ごし頂けたらとここに御案内申し上げます。入場料は無料です。尚、この演奏会は同窓会「のぞみの会」の後援を受けております。卒業生の皆様、是非昔をなつかしんでご来聴ください。又、多くのお客様のご来場を心よりお待ちしております。



柳城祭

柳城生の最大の大イベント「柳城祭」は11月2日(水)、3日(祝)に例年通り開催されます。初日2日は非公開で柳城生の為のお祭り、3日は一般公開で外部のお客様をおもてなしする日です。小さいお子様からお年寄りの方まで、又、卒業生、在校生の保護者、ご兄弟の方と大学祭を楽しめる計画を沢山用意しております。3日には多くの模擬店、ゲスト出演、学生による出し物、「紙芝居コンクール」の表彰と上演、保護者懇談会、受験生の為のオープンキャンパス等と盛り沢山のプログラムです。皆様、お誘いあわせの上、是非保育科ならではの大学祭をお楽しみください。皆様のご来校お待ちしております。



附属柳城幼稚園



今年度5月から、満3歳児2名を迎えて、年長組28名、年中組23名、年少組26名の合計79名となりました。

園庭には朝から元気な子どもたちの声が響いています。近くには市政資料館、主税町公園もあり、4月は桜を見に行ったり、園庭の大きなイチョウの木の下で昼食を取ったり、街中でも自然に触れる機会に恵まれ、感謝です。

預かり保育は30分延長して5時までとし、おやつも子どもの健康を考慮しお菓子だけでなく焼きおにぎりなどの手作りもしています。2歳児教室も2コースともほぼ定員となり、未就園児親子教室も毎回25組以上の親子の参加で賑やかです。

保護者の方には、ホームページのブログや毎週のお手紙(園長日誌)を通して、園の様子や子どもに恵まれた幸せ、神様がいつも愛して下さっていることを伝えていきます。私たち保育者も、神さまに

成長させていただけることを感謝して、日々保育に励みたいと思っています。

(園長 中野早苗)

年長「青組」

幼稚園の中で一番大きい年長組になった子ども達は、とても張り切っています。お兄さん・お姉さんになったという自覚も少しずつ出てきたようで、年少組の頃は大泣きしていた子どもも、泣いている年少組のお友だちの頭を優しくなでたり声を掛ける姿があります。そして、年長組にしかできない事や行事もたくさんある為、子どもたちは初めての経験にワクワクしています。先日、年長組は初めて野菜切りをしました。毎月1回、誕生会で食べるカレーの野菜を年長組が切ります。ニンジンやジャガイモを持った子どもは「本物の包丁で切るの?」ととても嬉しそうでした。慎重に野菜の皮を剥き、



包丁を手にした子どもたちの目は真剣そのもの。翌日のカレーは大きめの野菜もいつもの何倍も美味しかったです。

(担任 水野里香)

年中「黄組」

年中組に進級した子どもたちは1年前と比べると心も身体も健やかに大きく成長したと感じる日々です。「できなかった事ができるようになった喜び」を共に、喜び合えることに最高の幸せを感じています。今、子ども達は砂場で川作りが流行っているようで、友だち同士大きなスコップを持って意見を出し合いながら協力し合い、「川作り」を目標に、一生懸命作る姿があります。ひとつの目標を持って遊べる事も、今この時期になったからこそのだと感じます。これからも日々の成長を感じながら過ごしていきたいと思っています。

(担任 山田彩加)



年少「赤組」

入園から1ヶ月。新しい環境にも少しずつ慣れ、保育室や園庭は楽しそうな笑い声であふれています。でも、まだ「ママ…」とちよっぴり涙する子も。すると、自分のティッシュでそのお友達の涙を拭いてあげたり、頭を撫でてくれたり：優しい子ども達の姿に心がほっこりと温かくなります。園庭でも暖かい日ざしの中、お花に水をあげたり、砂場でラーメンを作ってごちそうしてくれたり、スクーターに乗って風のように駆け抜けたりと元気いっぱいです。

初めての出会いや経験を、これからもっと味わっていく子ども達。そんな子ども達の喜びや感動に共感しながら、「園で楽しいな♪」と感じられるようにいつも温かく、子どもの心に寄り添っていきたいと思います。

(担任 青木万莉 福原あいこ)



満3歳児「桃組」

今年度は5月から2名が入園しました。朝登園すると、お兄さんお姉さんが、準備を手伝ってくれたり、優しく声をかけてくれます。外遊びでは三輪車の後ろに乗せてもらったり、おままごとと一緒にしたり、元気いっぱいです。

桃組は3歳の誕生日を迎えた子どもたちが、順次入園します。生まれてきてまだ3年です。疲れて寝てしまう子や、お母さんが恋しくなる子、様々な姿が見られますが、その子に応じて必要な援助をしながら、「幼稚園って楽しい!」お友達や先生、大好き」と感じるようになっていくような保育をすすめていきます。

神様が与えてくださった命を大切に、私自身も子どもとの出会いに感謝しながら、毎日を通していききたいと思っています。

(担任 織田純代 田中友紀恵)





附属豊田幼稚園

豊田幼稚園は、自然が豊かな幼稚園です。近くには自然観察の森があり、野鳥や珍しい小動物や植物などを見ることが出来ます。園庭には大きな樫の木やしいの木、花が咲く木や果実が実る木が数多くあり自然の移り変わりを感じる事が出来ます。幼児期の子どもには、人間が動物や植物と共存して生きていることや、いのちの神秘を感じさせる体験が必要です。自然はそれらを気づかせてくれます。

遊びは子どものすべてです。3歳から6歳ごろまでは5感が敏感で、感覚に訴えるものに夢中になって遊びます。幼稚園では、見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触る等の5感を通して実体験を多くさせています。泥んこ遊びや土だんご作りをしたり、色々な場所で虫を見つたりしています。また、水で遊ぶのも大好きです。室内にも感覚的な物を多く準備しています。そのうち次第に世界が広がり、友だちを見つと一緒に遊びだ

します。社会性や規範意識等も友だちとの遊びの中で育っていきます。神さまがくださった子どもたちを、すばらしい感性を持つ先生たちと共に、大切にしっかりと育んでいきたいと思っています。

園長 鈴木はる美

年少組

年少組57名は、未満児クラスから進級した子が18名・2歳児教室から13名・初めて園生活をスタートさせた子が26名合計57名の子どもがいます。4月当初は、新しい環境に戸惑ったり、お母さんとの離れ際に涙が出る子もいましたが、戸外で友だちや先生と遊んでいるうちに笑顔になり楽しく過ごせるようになっていきます。いっぱい遊んだ後はお腹がペコペコ、「今日の給食はなあに？」と楽しみにしている給食の時間。配膳中は、配ってもらった給食を待ちながらどのクラスも静かです。そして、たくさん食べる事が出来ています。

また、今年のみんなで、きゅうりの苗を植えました。「どんなお花が咲くのかな?」「大きく、大きくなあれ」ときゅうりが出来る日を心待ちにしています。

豊かな自然にたくさん触れさせ、季節ならではの遊びを思いっきりダイナミックに楽しませたいと思っています。

年中組

今年、新入園児4名迎え32人



クラスと31人クラスでスタートしました。今年のさくら組・ひまわり組の子ども達は本当に元気いっぱいの子ども達です。遊ぶことが大好き、歌うことが大好き、作ることが大好きとどんなことにも自分なりに最大限の力を出して取り組んでいます。最近では「ぼくのミックスジュース」という歌を皆で歌っています。ピアノの音が聞こえてくると、子ども達は自分達で振り付けを考え楽しんで歌ったり、踊ったりという姿が見られます。そんな様子を見ていると思わず私達まで顔がにっこりとしてしまいます。5月に植えたレタス・ミニトマト・ひまわりも順調に背を伸ばしています。子ども達は毎日「いつ食べられるの?」と成長を楽しみにしています。これからの1年間には、一緒に喜んだり、また時には悲しんだりたくさんのお出来事があると思います。子ども達との出会いに感謝し、1人ひとりの心に寄り添って共に過ごして

ていきたいと思っています。

年長組

年長組になると、子どもたちの遊びが広がりを見せてきます。ブロックを組み立てることで一人ひとりが個性豊かな作品を作り上げ、その豊かな発想に驚かされます。また、ままごとあそびでは、「これを使おう」「この積み木を、あの食べ物にしよう」と子どもたち同士が相談しながら遊んでいます。決断を決め、実体験した遊びを展開しています。

子どもたちが持っている感性やその発想力に感心します。戸外で

一緒にサッカーをしたり、鬼ごっこやかけっこをして遊ぶときは、こちらも真剣になって走らないと子どもたちに負けてしまいそうです。力強さと走る速さや敏捷性に驚きます。自然の豊かな園庭で毎日過ごす中で、心身ともに成長していることを痛感します。今年1年間、一緒に考える機会を多くし、子どもたちが意見を出し合えるようなあたたかい雰囲気の中で私たち教師も子どもたちの後押しができるように応援していきたいと思っています。





附属三好丘
聖マーガレット幼稚園

2010年度マーガレット幼稚園は増築しました。3月25日が落成式でした。

既存の園舎の西側に二階建てが建ちました。一階は保育室、二階はホールです。

ホールは園児とは別の玄関より出入りが可能で、園の行事以外に地域の方々にも多目的に利用していただきたいと思っています。

正面にあるステンドグラスは壁いっぱいの高さです。感謝なこと



に、日本聖公会豊橋昇天教会会員の岡田慶子先生に制作して頂きました。幼稚園にふさわしくと、イエス様に駆け寄る子ども達がモチーフになっています。ブルーの基調に赤い十字架がとても綺麗です。このステンドグラスによってホールが教会の雰囲気をもたらししてくれました。礼拝をするのにふさわしいお部屋が与えられ、本当に感謝です。

新学期になり4月を迎え、初めてのお誕生会をホールで行いました。後藤司祭に祝福していただき子ども達も、笑顔いっぱい嬉しそうでした。

(園長 平松ちづ代)



イースター

イエスさまがよみがえられた大切な日「イースター」。4月22日、マーガレット幼稚園でも子どもたちと一緒にイースターのお祝いをしました。

まずは園長先生から、イースターのお話をいただいた後、ウサギやクマ、ニワトリなど、可愛い



動物たちに変身した先生たちがイースターにまつわる劇をしました。

楽しい劇のかけ合いに子ども達もニコニコで見入っていました。「みんなで今からマーガレットの森に、卵を探しに行きましょう！」の動物たちの言葉に、期待を膨らませ、早く見つけにいきたくてウズウズ！今年初めて森に見立てた園庭で卵探しを行いました。「たまごどこかな？」と一生懸命探している年少組さん。その様子を見て温かい目で見守り「葉っぱの下はどう？」と一緒にのぞいてくれる優しい年長組さん。「見つけた！そーっと持たなきゃね」と卵をお友だち同士で見せ合って嬉しそうにする年中組さん。一日の中のほんの数時間で

したが、異年齢の触れ合いや、そこから生まれる会話を思いやりの気持ちなどを、ひしひしと感じることが出来ました。何より楽しんでる子どもたちの姿や笑顔が見られ嬉しく思いました。きれいな模様のついた袋の中に包まれた卵を手にして「かわいいね。お母さんにも見せてあげようっと！」と言って宝物のように大事にしまっていました。そんな微笑ましい光景もたくさん見られたイースターのお祝いでした。

(教諭 村上 恵利)

箱積み木あそび

暖かな日差しに包まれて園庭では子ども達が元気に走り回ったり思い思いに遊び回ったり楽しんでいます。4月に入園した新入園児も幼稚園生活のおもしろさをそれぞれに見つけ、笑顔いっぱい過ごしています。

園庭にはいろいろなおもちゃや遊具がありどれも魅力的ですが、その中でも四角い箱積み木を色んな物に見立てて遊んでいる姿をよく見かけます。この箱積み木は平成19年度の卒園記念でいただいたものです。箱積み木を2、3個上に積み上げて靴箱に見立て周りにざら板を敷きつめ、お皿やスコップを持ち寄りお店屋さんが始まります。主に年長児がお店を運営していますが、どの子どもとも優しい店員さんに変身してお客さんの年少児にニコリと微笑みながら「靴はこちらの箱に入れて下さい。」と案内してくれます。年

少児もすっかり安心した表情でお客さんを楽しんでいます。年少児の中には、とっても嬉しかったのか離れたところにいた私の所まで走ってきて手を引き「いいお店がありますよ！」と教えに来てくれた子もいます。

この様に同じ年長児同士だけでなく年少児との関わりの中で自分より小さなお友だちに思いやりを持って接することのすばらしさを自然と感じ、身に付けて成長している様に思います。この流れは今始まったものではなく、以前からずっと続いていることで、これからも長く続くマーガレット幼稚園の素敵な輪となる箱積み木だと思います。

(教諭 大井 祥子)



2010年度会計報告

資金収支の状況 (単位千円)

	科 目	2009年度	2010年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	622,804	659,862
	手数料収入	11,758	12,906
	寄付金収入	11,967	10,424
	補助金収入	229,438	194,609
	資産運用収入	6,710	11,297
	資産売却収入	700,000	1,466,122
	事業収入	40,020	41,170
	雑収入	53,482	7,531
	前受金収入	161,870	157,490
	その他の収入	38,060	95,164
	資金収入調整勘定	△250,441	△171,604
	前年度繰越支払資金	1,334,030	1,194,338
	収入の部合計	2,959,698	3,679,309
	支出の部	人件費支出	499,048
教育研究経費支出		171,624	168,710
管理経費支出		48,577	61,251
借入金等利息支出		1,885	1,660
借入金等返済支出		10,930	15,910
施設関係支出		163,541	395,191
設備関係支出		15,335	29,523
資産運用支出		853,049	1,310,131
その他の支出		12,166	11,451
資金支出調整勘定		△10,795	△14,644
次年度繰越支払資金		1,194,338	1,232,342
支出の部合計		2,959,698	3,679,309

[2010年度決算概況]

- 1、収支状況：当年度の帰属収支差額は328,417千円の収入超過でした。主な増収要因は収入面では資産売却差額収入と学生・園児の増加による学生生徒納付金が増加したことによります。一方、消費支出において人件費の減少が全体の減少に寄与しました。資産売却差額152,497千円は今年限りの収入であり、これを除いた経常的な帰属収入差額は175,920千円と、前年比32,607千円の増加でした。
- 2、資金状況：支払資金は前年比38,003千円の増加でした。主な原因は資産売却収入と経費の節約によります。資金運用支出が大幅増加となりましたが、単年度内の回収による短期資金運用であり、期中のキャッシュフローに影響を与えるものではありません。
- 3、資産状況：総資産313,833千円の増加でした。今期は数年来の固定資産の増加がありました。短大建物の新築、幼稚園増改築、土地の購入等でした。更には、建物取得による施設用機器類等の購入が反映しております。このような状況下でありながら、預金額が前期比プラスに転じております。自己資本は3,228,318千円となり、良好な推移を示しております。

参考

年 度 比 較	2009年	2010年
固定資産構成比率	61.2%	65.8%
流動資産構成比率	38.8%	34.2%
固定負債構成比率	7.0%	6.0%
自己資金構成比率	87.3%	88.8%
総負債比率	12.7%	11.2%
固 定 比 率	70.1%	74.10%

年 度 比 較	2009年	2010年
現預金比率	627.4%	654.3%
人件費比率	50.2%	43.1%
教育研究経費比率	23.5%	20.8%
管理経費比率	5.0%	5.8%
消費支出比率	80.3%	69.9%
消費収支比率	92.5%	86.4%

消費収支の状況 (単位千円)

	科 目	2009年度	2010年度
消費収入の部	学生生徒等納付金	622,805	659,862
	手数料	11,758	12,906
	寄付金	12,775	10,620
	補助金	229,438	194,609
	資産運用収入	5,176	11,297
	資産売却差額	0	152,497
	事業収入	40,020	41,171
	雑収入	53,482	7,531
	帰属収入合計	975,454	1,090,493
	基本金組入額合計	△128,324	△208,718
消費収入の部合計	847,130	881,775	
消費支出の部	人件費	489,948	469,464
	教育研究経費	229,608	227,185
	管理経費	49,226	63,459
	借入金等利息	1,885	1,661
	資産処分差額	12,940	307
消費支出の部合計	783,607	762,076	
当年度消費収入超過額	63,523	119,698	
前年度繰越消費支出超過額	194,424	130,900	
翌年度繰越消費支出超過額	130,900	11,202	

貸借対照表の推移 (単位千円)

	前年度末	当年度末	
資産の部	固定資産	2,032,464	2,392,937
	流動資産	1,289,822	1,243,182
	(内、預金)	(1,194,338)	(1,232,341)
	資産の部合計	3,322,286	3,636,119
負債の部	固定負債	232,031	219,460
	(内、借入金)	(83,970)	(69,720)
	流動負債	190,354	188,341
	負債の部合計	422,385	407,801
基本金の部合計	3,030,801	3,239,520	
消費収支差額の部合計	△130,900	△11,202	
負債・基本金・および消費収支差額合計	3,322,286	3,636,119	

新任（専任）教職員紹介

就任にあたっての抱負

チャブレン紹介

「新任チャブレンとして
思うこと」

◆チャブレン 司祭 田中 誠

チャブレンとして働かせていた

だくことになりました。直接皆さんと接するのは礼拝の時に立ちますが、どのようなことでお役に立っているのか、と考えています。学生の皆さんにとっては、短大生活は、2年間という短い期間にたくさん内容がぎゅっと詰まった忙しい日々であり、高校時代とは違った自由な日々であり、自分の将来に直結して学ぶ緊張の期間であるかもしれません。そうした内容の濃い時を過ごすとしたら、日々の生活の中では、喜んだり悲しんだり様々な思いが交錯し、時には大きな悩みを抱えることにもなるでしょう。そうした時には相談する親しい人が欠かせません。もちろん第一の相談相手は、親しい友人であり、先生方でしょう。しかし、内容によっては、普段とは違った相手に相談したいと思うときもあると思います。そうした時に利用していただけたらと思っております。学業や人との交わりとは違って人生そのものの悩みは、人それ

ぞれです。簡単には解決できないこと、解決することなく抱える問題もあります。そうした悩みは、話すことで一緒に抱えてもらい、自分の気持ちに寄り沿ってもらうことで人は力を得られます。そうしたことでお役に立てたら良い、と思っております。

「愛をもって使えよ」という言葉が建学の精神にあります。「愛する」ということ「使える」ということ、それぞれに意味の深い言葉です。また、同時に両方の言葉は相手にきちんとして受け止めてもらえて意味を持つ言葉です。そういう点では経験が大きく意味を持つ言葉です。愛されることの実感、心地よい人との関係、そうした経験が、今度は自分が人に何かをする時に、どのようにするかを考えさせるでしょう。大きく悩み、人と接すること、短大時代の自己形成のお役に立てればと思います。

附属幼稚園

◆豊田幼稚園

ゆり組担任 阪下 起子

今年から年長組の担任をさせていただきます。うまくいかないこともありりますが、笑顔で登園してくる子ども

を見て、毎日幸せな思いで過ごしています。元気いっぱい笑顔いっぱいの子もたち、一人ひとりの思いを大切に過ごしていきたいと思えます。

◆豊田幼稚園

ひまわり組担任 津田早百合

元気いっぴいの年中組の担任をさせていただいています。子どもたちからたくさん元気をもらい過ぎています。子ども一人ひとりに寄り添った保育ができるようにしていきたいと思えます。子どもと向き合いながらいるような経験を通して子どもと共に成長していきたいです。

◆豊田幼稚園

あじさい組担任 山崎 阿由

好奇心旺盛で元気いっぴいの年少組の担任をさせていただいています。毎日子どもたちと過ごす時間は宝物で日々、一緒に成長させてもらっています。

これから遊びや生活の中で子どもたちが発見し、感じたその瞬間を大切にして笑顔いっぴい楽しく過ごしていきたいと思えます。

◆豊田幼稚園

あじさい組担任 高橋菜々子

今年の4月から新任として年少組の担任をさせて頂いております。子どもたちと過ごす日々は、とても楽しく、また、ひとりひとりの成長を感じることができ充実しています。子どもたちの中には、まだ新しい環境に慣れていない子もいますが、ひとりひとりの心に

寄り添った保育をしていきたいです。

◆豊田幼稚園

ちゅうりっぷ組担任

清水 智代

今年の4月から、年少組の担任をさせて頂いています。

子どもたちと過ごす時間はとても楽しくあつという間に1日が終わってしましますが、毎日子どもたちから元気をもらいながら過ごしています。

子どもたち一人ひとりの気持ちを受け止め、愛を持って保育をしていきたいと思っています。

◆豊田幼稚園

ちゅうりっぷ組担任

鈴木有加里

4月より年少、ちゅうりっぷ組の担任をさせていただいています。幼いときからの夢だった、幼稚園の先生として子どもたちと毎日楽しく過ごしています。

まだ力不足な部分もありますが、子どもたちの成長を見守りながら、共に保育者として成長していきたいです。

◆豊田幼稚園

岡本 亜希

本年4月より柳城豊田幼稚園でお世話になっております。

縁があった事に感謝します。今は、笑顔いっぴいの子ども達との毎日がとても楽しいです。

又、同じ子育て中の母として、お母様の思いに共感する事も多くあります。

子育てを嬉しいと感じ、喜びを持ってもらえるように、親支援のできる保育者になりたいと思えます。

◆三好丘聖マーガレット幼稚園

主任 菅原 敏子

4月より、主任として聖マーガレット幼稚園で働かせていただいています。慣れない仕事に悪戦苦闘の毎日です。先生方に助けられ、神様に支えられながら、今までとは違った立場で、子どもたちの成長の手助けができればと思っています。よろしくお願い致します。

◆三好丘聖マーガレット幼稚園

年少組担任 中井加奈子

4月から年少組の担任をさせて頂いております。あつという間に過ぎていく毎日ですが、かわいい子どもたちから、日々たくさん元気をもらっています。

これからも笑顔いっぴい元気いっぴいのクラスを目指し、子どもたちと一緒に成長していきたいと思えます。

◆柳城幼稚園

赤組担任 福原あいこ

今年の4月から、新任として年少組の担任をしています。子どもの笑顔に私も毎日、元気をもらっています。新任ということですが、子どもが多くあります。先輩の先生方や子ども達から、日々、学んでいます。これからも笑顔で元気にし、保育者として頑張っていきたいと思えます。そして、子どもと一緒に多くのことを学び成長していきたいと思えます。

短期大学

◆櫛木 真理子
教務課員

本年4月より教務課で勤務させていたでおります。学生が愛校心を育み巣立っていき、そして、柳城で学んだことに誇りを抱きながら社会に貢献していつてくれるために、一職員として何が出来るか、どのように携わっていきけるかを模索しながら、頑張っていきたいと思っております。

◆早川 美智代
教学部付

3月まで附属柳城幼稚園に勤務しております、毎日可愛い子ども達にパワーをもらって過ぎてまいりました。4月からは母校である本学の職員となり、これからは先輩として、保育者を目指す後輩たちに少しでも良いアドバイスができればと思っております。

◆松本 勝
法人事務局付

昨年まで勤めていた名古屋YMC Aには、子どもたちと活動する柳城生のボランティアリーダーが毎年いました。柳城で働くようになって多忙な柳城生がよくリーダー活動をしていてくれたものだと感心するばかりです。微力ながら今までの経験が少しでもお役にたてば嬉しいと思っております。

退職にあたって



◆三好丘聖
マーガレット
幼稚園
山中 綾

聖マーガレット幼稚園でお世話になって1年。様々な行事の度に、子どもたちは小さな体の中に無限の力を持っている事を知りました。また、子どもたちは本当に愛らしくその笑顔・言葉にいつも励まされてきました。私が柳城に入ってから出逢ってきた先生、仲間、先輩の先生、保護者の方、子どもたちが、いつも私を成長させてくれました。これからの出逢いも大切にして、人としてさらに成長していきたいと思っております。短い間でしたが、本当にありがとうございます。



◆豊田幼稚園
大西なつき

2年間という短い時間でし

が、附属園の教諭の一人として保育に携わることができたことに喜びを感じています。子どもたちのかわいい笑顔に元気をもらい、先輩の先生方からの指導や温かい言葉に支えられながら、恵まれた環境で保育に励むことができました。多くの方々と出会い、一緒に過ごした日々は私にとっても大切な宝物です。本当にありがとうございます。



◆豊田幼稚園
鈴木 貴子

「せんせい、おはようございます！」「いっしょにあそぼ！」。2年前、久しぶりの現場に復帰した時、私で大丈夫かな？と不安で一杯でした。毎日疲れて帰宅し、教材づくり…。家事もままならないこともありました。しかし、子どもたちの元気な声は私を『さあ、頑張ろう！』という気持ちにさせてくれました。正直、大変でしたがとても充実した毎日でした。

心残りは、子どもたちの成長を卒園まで見届けたかったことです。誰にでも挨拶ができ、人への思い遣りを持つこと。子どもたちはそんな人に育ってほしいと願っています。至らないこともあったかと思いますが、保護者の皆さまにも大変お世話になりました。



◆豊田幼稚園
太田かおり

新任として期待と不安を抱いて迎えた4月から、あつという間に4年がたちました。この4年間の中でたくさんの子供も、保護者の方との出会いがありました。子ども達の笑顔の温かさや素直な優しさに触れ、充実した一日一日を過ごすことができました。この4年間で学んだことや感じたことをこれから産まれてくる我が子の為に活かせるようにしていきたいと思っております。ありがとうございます。

22年度の叙勲
宮嶋英一 教学部顧問に

平成22年度秋の叙勲において社会・公共のために功労がある人に授与される勲章瑞宝双光章が、宮嶋英一 教学部顧問（元就職課長）に贈られました。小学校から始まる長年にわたる教育への功労が認められたものです。本学でも、長年の経験を十分に発揮され、学生の就職に際しては多くの学生が今なお、お世話になっております。

◎学院人事

〔法人〕	採用	職員(特任)	松本 勝(法人事務局付)
〔短大〕	退職	職員(特任)	山中則之(教務課長)
	採用	職員(特任)	早川美智代(教学部付)
	採用	職員	櫛木真理子
	昇任	大澤弘毅	就職係長↓就職課長
	昇任	種市淳子	教務係長↓教務課長
	昇任	(特任)	宮嶋英一
	着任		就職課長↓教学部顧問
			田中 誠(短大チャレン)
			柳城幼稚園
	採用(特任)		福原あいこ
	異動		大井祥子
			柳城幼稚園主任↓
			三好丘聖マーガレット教諭
	退職		豊田幼稚園
			太田久美子、後藤千佳、
			鈴木貴子、太田かおり、
			大西なつき
	採用		阪下起子、鈴木有加里、
			高橋菜々子、津田早百合
			(特任)
			熊澤優梨亜
			(2010年7月)
			(特任)
			山崎阿由、清水智代、
			岡本亜希
	退職		三好丘聖マーガレット幼稚園
			山中 綾
	採用		中井加奈子
			(特任)
			菅原敏子
			三好丘聖マーガレット主任
			織田純代
			三好丘聖マーガレット主任↓
			柳城幼稚園主任



附属幼稚園情報

新入園児お知らせ

入園説明会

柳城幼稚園 9月10日(土)
 豊田幼稚園 9月10日(土)
 三好丘聖マーガレット幼稚園
 9月24日(土)

入園願書配布 願書受付

9月1日(木)～ 10月1日(土)～

運動会

柳城幼稚園

10月15日(土)雨天時は17日(月)

豊田幼稚園

10月8日(土)雨天時は9日(日)

三好丘聖マーガレット幼稚園

10月8日(土)雨天時は9日(日)

子育て支援

各園にて子育て支援事業に取り組んでいます。

ぜひお問い合わせください。

柳城幼稚園 (052)951-5080
 豊田幼稚園 (0565)80-0198
 三好丘聖マーガレット幼稚園
 (0561)36-8373

「改善提案委員会 からの報告」

【現状】

制度2年目の2010年度の改善提案件数は23件と1年目の17件と比べると若干増加した。また採用別内訳としては、採用が12件、保留が3件、不採用が8件という内容であった。報奨金は提案報奨金10件、実施報奨金5件合計97,000円が支給(6/10現在)された。ここで採用された案件を少し紹介すると「事務室の電気ボットの採用」・「放置自転車の撤去」等身近な問題から「起案書の統一」・「防災に関する提案」等学院全体の問題にまで幅広く提案されている。

【課題】

提案件数としては増加したが、提案者数は8人と昨年同様特定の人に限られ、また改善提案委員を除くと半分は4人となってしまう。さらに附属園からの提案は、0件であった。PR不足も要因の一つではあると思うが、今後の運営に関しては、運営方法、体制等改革の必要もあるのではないかと考える。また、職員数が多いとはいえないなか、本当にこの提案制度が必要なのか、別の方法があるのか、制度の存続意義も考えていかなければならない時期に来ていると思う。

報告 改善提案委員会
 幹事 渡辺敏光

「聖公会関係学校 教職員研修会」について

名古屋柳城短期大学が幹事校を勤めた「第53回聖公会関係学校教職員研修会」が2010年8月9日～11日の三日間、名古屋メルパルクおよび名古屋聖マタイ教会を会場にして開催されました。全国17の聖公会関係学校の教職員133名が集って、メインテーマ「いのちを育む―使命を担う教育を求めて」のもとに熱心な話し合いが行なわれました。研修会は、先ず、立教大学名誉教授・関正勝先生の基調講演「いのちを育む―科学技術文明のなかでいのちの豊かさを考える」でスタートし、その後8分科会、4フィールドワークで「いのちの尊厳・豊かさ」を確認する作業を行い、最後に名古屋聖マタイ教会で感謝の聖餐式をもって閉じました。幹事校を勤めた名古屋柳城短期大学では、ほぼ1年前から準備委員会を組織して、全教職員参加のもとにこの全国大会開催に向けて準備作業を行い、順調に、盛況裏に終えることが出来たのはとても良い経験であり感謝でした。